

# 学校タイムズ

令和5年11月1日  
新潟市立大野小学校  
第6号

HP <http://www.ohno-e.city-niigata.ed.jp/>

わくわくする未来へ歩み出そう  
150年の思いをつないで

校長 片山 敏郎

この10月21日に、多数のご来賓の見守る中、大野小学校創立150周年記念式典を挙行することができました。心より御礼申し上げます。

大野小学校は、明治5年の開学以来、明治、大正、昭和、平成、令和と、150年という長い歴史を紡いできました。その間、悲しい戦争や新潟地震など多くの困難もありました。当時の大野小学校の子供たちは、力強く乗り越えて社会に羽ばたき、今の野野校区、新潟市、日本社会を築きあげてきました。

今も、世の中には、新型コロナウイルス感染症の流行や外国での戦争、地球温暖化や少子高齢化など様々な問題があります。しかし、大野小学校の子供たちであれば、卒業生の皆様がそうであったように、必ずやたくましく生き抜き、多様性が尊重される心豊かな社会を創ることができると信じています。

大野小学校では、昔からこの黒崎地区の中心校として、教育目標にある「かしく やさしく たくましく」子供たちが育つように、学校と保護者、地域の皆様に協力して教育を行って参りました。

現在では、毎日の授業でiPadを使い、課題を発見したり、情報を集めたり、整理したり、まとめたりしながら学習をしています。先日の新聞報道で、新潟市が全国で一番タブレット端末の活用率が高いと報道されましたが、大野小学校ではどの学級も毎日活用しており、日本で一番上手にiPadを使って学べる子供たちになりつつあります。友達と力を合わせて学び、学校や地域を大切に思う気持ちもしっかりと育ってきています。

記念式典の第2部は6年生を中心に、子供たち自らで運営し、YouTubeでも配信し、150年の伝統の一番先にいる子供たちの学びの姿をご覧いただきました。子供たちが考えたスローガンの通り、150年の思いをつなぎ、わくわくする未来へ歩み出す第一歩を歩み出すことができたと思います。今後とも、「大野の教育」へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



# 令和5年度 全国学力・学習状況調査について

研究主任 伊藤 優美

小学校6年生を対象に、4月18日に実施した2023年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

国語における正答率は、全国と同水準をやや下回る結果、算数においてはやや上回る結果となりました。

特に、どの教科においても記述式で答える問題に弱さが見られました。各教科ごとに課題となった問題と今後の取組について述べていきます。

大野小6年生の正答率 県及び全国平均との比較

	国語	差	算数	差
大野小	66.0%		65.0%	
新潟県	67.0%	-1.0%	62.0%	+3.0%
全国	67.2%	-1.2%	62.5%	+2.5%

## 【国語】

(1) 学校の米作りの問題点と解決方法を、図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書くことができるかどうかをみる問題。

(全国正答率 26.7 大野小 33.8)

全国の正答率を上回りましたが、正答率が50%を切った問題でした。記述問題を頑張っ  
て書こうとする姿勢は見られましたが、条件をすべて満たして書くことが難しかったよう  
です。一部が不足して誤答となっている児童が多かったです。構成を意識して書くことが  
できるよう、次のことに授業で取り組んでいきます。

### 【文章を書き始める場面】

書く目的や内容を検討する時間を設定し、伝える相手を明確にしたり、経験を基に材料  
を集めたり、何をどのように書くかを考えたりできるようにしていきます。

### 【情報を整理する場面】

iPadを活用して、必要な情報に印を付けたり、情報と情報を矢印でつないだり、表を  
用いてまとめたりするなどして、情報と情報との関係を視覚的に捉え、情報を整理でき  
るようにしていきます。また、iPadを活用し、友達と助言し合いながら、児童自身が自  
分の文章を何度も見直したり、書き直したりできるようにしていきます。

(2) 資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分の考えをまと  
めることができるかどうかをみる問題。

(全国正答率 56.2 大野小 47.7)

運動に関する資料と食事に関する資料の両方に基づいて自分の考えをまとめるという  
条件があるにも関わらず、片方の資料の情報のみを記述する児童の割合が多かったです。  
そのため、国語の授業のみに関わらず様々な教科で、教材を提示する際に、複数の  
情報を比較したり、関連付けたりして検討するよう、教材提示の仕方や資料の読み  
取らせ方等を工夫していきます。

## 【算数】

- (1) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときの A の角の大きさについて、正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題。

(全国正答率 24.9 大野小 12.3)

ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の④の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



私は、④の角の大きさを  $20^\circ$  にしました。切って開いた三角形がコサは、二等辺三角形になりました。



私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいなさんどちらがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にすればよいですか。

答える書きましょう。

全国の正答率よりも正答率が低い問題でした。「正三角形の1つの角が  $60^\circ$  になること」は約  $65\%$  の児童が理解していることから、正三角形の意味や性質について理解しているといえます。ただ、紙を2つに折った角度にするために、 $\div 2$  をすることを忘れていた児童がいました。また、問題文が長く、図示も多かったため、問われていることをつかめていない児童も見られました。

算数だけに限らず、情報を整理して課題解決に取り組む活動を意図的に取り入れていくようにします。また、目的の図形をつくるために、どのような操作をすればよいか、図形の意味や性質を基に、見通しを立てることができるようになるよう今後も指導を継続していきます。

- (2) 3種類のファイルを23人分全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかについて、小数の加法や乗法を用いて、式や言葉を記述して条件に当てはまるかどうか判断できるかをみる問題

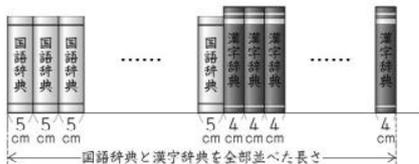
(全国正答率 56.7 大野小 47.7)

辞典やファイルを、教室の後ろに並べようとしています。

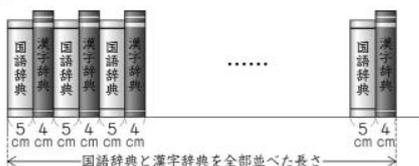
- (1) わかなさんの学級では、国語辞典と漢字辞典を1人1冊ずつ使えるように、ロッカーの上に並べることにしました。そこで、並べる前に、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、どのくらいになるのかを考えています。国語辞典1冊の厚さは  $5\text{ cm}$ 、漢字辞典1冊の厚さは  $4\text{ cm}$ 、学級の人数は  $28$  人です。



国語辞典と漢字辞典に分けて並べたとして考えます。



1人分ずつ並べたとして考えることもできます。



上記以外にも、

○場面と関連付けて、式の意味を読み取ること。

○日常生活の場面を解釈し、数量の求め方を数学的に表現すること。

などができるかをみる問題でした。

日常生活の問題を解決するために、場面を解釈して数量の関係を捉え、式を用いることができるように指導を継続していきます。また、iPad を活用して、二通りの並べ方を表した式を比較して、式から分かることや「はやく 確実に 正確に」計算することなどの観点から、それぞれの考え方のよさについて話し合う活動を今後も取り入れていきます。

## 【児童質問紙】

番号	内容	肯定的評価		
		当校	県	全国
33	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用していましたか。	63.2	74.1	62.4
34	5年生までに受けた授業で、問題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	83.8	84.1	78.8
36	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	82.3	80.2	74.4
37	学校の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広めたりすることができますか。	91.2	85.7	81.8
38	学習した内容について分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	85.9	82.5	77.4
39	授業で学んだことをほかの学習で生かしている。	88.2	86.1	74.8

黄色で示した部分が、全国よりも上回ったものです。進んで学習に取り組み、学んだことをその後の学習や他教科などで生かそうとしていることがうかがえます。また、ICTの使用頻度については県に比べて低いですが、今年度は思考ツールを活用しながら授業に取り組み、全ての学級で毎日活用をしています。これからも日々の授業で、一人一人がタブレット端末を学習の基盤として活用する授業を日常的に行うことで、情報活用能力や教科の資質・能力を確実に高めていけるよう、授業改善に取り組んでいきます。